



横浜市歴史博物館 企画展

丹波コレクションの世界Ⅱ

れ き し      あ や か し      よ し と し  
**歴史 × 妖 × 芳年**

“最後の浮世絵師”が描いた江戸文化

会期：平成 29 年 7 月 29 日（土）～ 8 月 27 日（日）



西郷隆盛切腹図（さいごうたかもりせつぷくのず）月岡芳年 明治 10 年（1877）

◆芳年が描いた歴史画や妖怪画とその魅力をコレクションをとおして紹介します◆

昨年に引き続き、「丹波コレクション」の作品と魅力を、所蔵する神奈川県立歴史博物館と連携して紹介します。今回は、月岡芳年（つきおかよしとし）という 1 人の絵師に注目します。芳年は幕末～明治にかけて活躍した絵師で浮世絵終焉期にあつて優れた作品を多く生み出し、“最後の浮世絵師”とも称されています。さまざまなジャンルの作品を手がけましたが、本展では芳年晩年の名作「新形三十六怪撰（しんけいさんじゅうろっかいせん）」全作品を中心に、描かれた物語を紹介し、あわせて、歴史画や報道的な作品にも注目し、芳年の生きた時代の歴史認識を探ります。

妖艶な美人画や血みどろ絵とはまた異なる芳年作品の魅力を紹介します。

「丹波コレクション」とは・・・

横浜で貿易商を営んだ丹波恒夫氏が収集した、約 6,200 点からなる神奈川県立歴史博物館所蔵の浮世絵コレクションです。横浜浮世絵や広重の作品がよく知られていますが、他にも、初期浮世絵から明治期の浮世絵にいたるまで、さまざまな年代・作者・様式の作品が幅広く揃っています。

1. 芳年とその作品



↑五代目尾上菊五郎一つ家の老婆（ごだいめおのえきくごろうひとつやのろうば）明治23年（1890）

浅茅が原（あさぢがはら 東京都台東区）の一つ家伝説を題材とした歌舞伎で、旅人を殺して金品を奪った老婆を演じる五代目尾上菊五郎を描いた役者絵。3枚続きに一人の役者の半身像を描き、背景を省略した手法が斬新。老婆の情念を凝縮したような人物表現も圧巻である。

2. “歴史”を描く一・過去を描く ・同時代を描く



← 魁題百撰相 羽紫太閤豊臣秀吉公（かいだいひやくせんそう はしばたいこうとよとみひでよしこう）明治元年（1868）

戊辰戦争、特に、慶応4年5月15日に上野で旧幕府軍の彰義隊と新政府軍が激突した上野戦争を題材に、両軍の勇姿を歴史上の人物に見立てたシリーズのうち一枚。豊臣秀吉とその肩に乗る三法師（信長の孫）が描かれるが、三法師は明治天皇、秀吉は新政府軍の薩摩藩や長州藩などを象徴しているといわれる。

3. “妖”の世界—「新形三十六怪撰」

→ 新形三十六怪撰 清玄の霊桜姫を慕ふの因（せいげんのれいさくらひめをしたうのず）明治22年（1889）  
歌舞伎「桜姫東文章（さくらひめあずまぶんしょう）」などで江戸時代から親しまれる清玄と桜姫の物語。清水寺の僧、清玄は、美しい桜姫に恋するが叶わず、ついには殺されてしまう。しかしその死後も、亡霊となって姫につきまとう。清玄はどこかという、背後の襖の染みが……。壁や天井の染みが人や霊に見えるという恐怖は、現代にも通じる感覚ではないだろうか。



## 【関連企画】

### 当館学芸員による展示解説

講師：小林紀子（当館学芸員）

日時：8月11日（金祝）、12日（土）、19日（土）、20日（日） 各日とも11：00～、14：00～

会場：当館研修室・展示室

参加費：無料（要企画展チケット） 定員：30人

### スペシャル展示解説

講師：桑山童奈氏（神奈川県立歴史博物館 主任学芸員）

日時：8月26日（土）13：00～、15：00～

会場：当館研修室・展示室

参加費：無料（要企画展チケット） 定員：30人

### 浮世絵摺り実演とミニ体験

葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川冲浪裏」の摺り実演（同時解説）と簡単な摺り体験

講師：公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団

日時：8月6日（日）11：00～12：30、14：00～15：30

会場：当館研修室

参加費：500円

対象：小学生以上（4年生以下は保護者同伴、5年生以上は任意）

定員：各回20人（組）（事前申込・7月26日（水）17：00受付終了・申込多数の場合は抽選）

### 図録

「歴史×妖×芳年」 1,200円（予価）

A4変形判 フルカラー 112頁

### 芳年を巡る 入館料相互割引プランの実施

本展示の観覧チケット半券を 太田記念美術館企画展「月岡芳年 妖怪百物語／月岡芳年 月百姿」でご提示いただくと100円割引で、太田記念美術館上記展示半券を当館でご提示いただくと団体料金でご覧いただけます。

### 【展示会期など】

会 期 平成29年7月29日（土）～ 8月27日（日）

開館時間 午前9時～午後5時（券売は4時30分まで）

観 覧 料 一般 500円、高校生・大学生 200円、小学生・中学生 100円（常設展は別）

休 館 日 月曜日

主 催 横浜市歴史博物館

共 催 横浜市教育委員会

協 力 神奈川県立歴史博物館

後 援 朝日新聞横浜総局/神奈川新聞社/産経新聞社横浜支局/東京新聞横浜支局/  
日本経済新聞社横浜支局/毎日新聞横浜支局/読売新聞東京本社横浜支局/  
NHK横浜放送局/t v k / F Mヨコハマ

お問い合わせ先：横浜市歴史博物館 副館長 井上攻 TEL045-912-7777

\*画像データをご要望の場合は 久保（広報）へご連絡ください。